

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/05/24

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.14	-0.27
JPY/THB	0.2669	-0.0021
USD/JPY	127.90	0.02
EUR/THB	36.49	0.15
EUR/USD	1.0691	0.0127
USD/CNH	6.662	-0.038
SGD/THB	24.86	-0.05
AUD/THB	24.27	0.04
USD/INR	77.52	-0.02
USD Index	102.08	-1.07

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.300	-0.091
10Y (THB)	3.070	-0.050
5Y (USD)	2.868	0.069
10Y (USD)	2.851	0.070

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,847.8	5.7
WTI (Oil)	110.29	-2.94
Copper	9,548.0	126.0

Stock

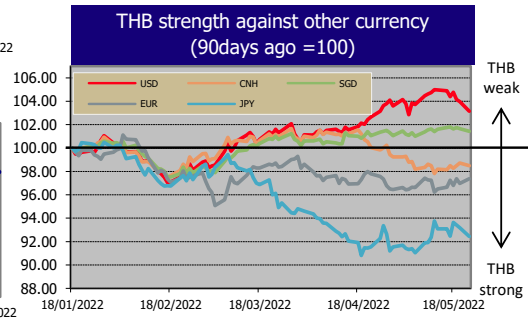
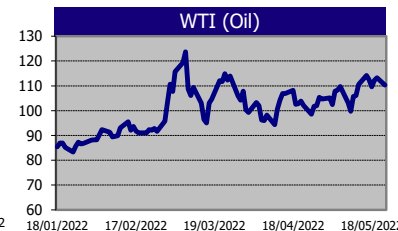
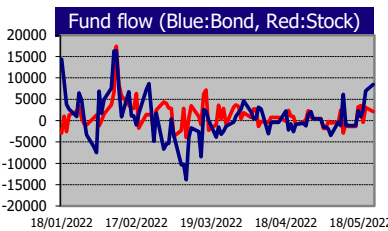
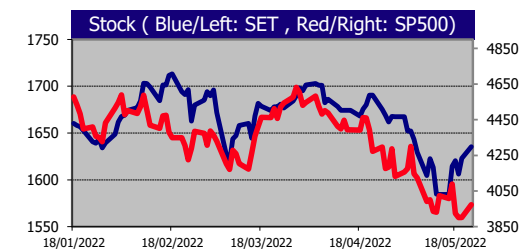
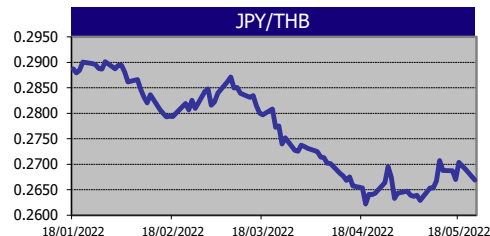
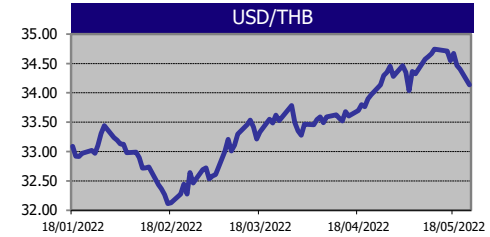
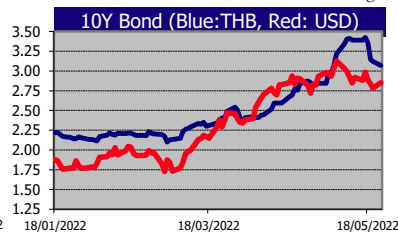
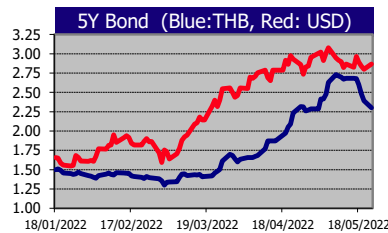
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,635.28	12.33
NIKKEI (JP)	27,001.52	262.49
DOW (US)	31,880.24	618.34
S&P500 (US)	3,973.75	72.39
SHCOMP (CN)	3,146.86	0.29
DAX(GER)	14,175.40	193.49

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,094	-999.8
Bond net flow	8,470	1489.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。バンコク時間は34.30近辺でオープン。週明けのドルパーツは人民元相場と足並みをそろえる形で下落。中国国内の新規コロナ感染者の発表者が減少してきたことから、リスクセンチメントは小幅改善。バイデン大統領の対中関税引き下げの話題も人民元高をサポートし、ドルパーツも終始下落基調を継続。結局34.15近辺でのクローズとなった。また週末に実施されたバンコク知事選では、事前予想通り、元タクシン派のチャチャート氏が圧倒的勝利を収め、野党の躍進が印象的な結果となった。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落後に反発。東京時間は127.85円近辺でオープン。オープン後は一時127.15円近辺まで急落する場面もみられたが、日米首脳会談でバイデン大統領の「対中関税引き下げを検討する」と発言したこともあり、センチメント改善からドル円は反発。NY時間には株式市場が底堅く推移する展開にクロス円もしっかりの展開となり、結局127.90円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

週明けのドルパーツは下落基調をたどり、34台前半まで下落しました。足元のタイ金利はボラタイルな展開を辿っていましたが、先週末にはセタブット中銀総裁が政策金利の引き上げには消極的な見解を見せたこともあり、週明けのタイ金利は大きく低下しています。

タイは現在、政策金利を15会合連続で0.50%に据え置いているものの、足元の消費者物価指数は4.5%近辺へ上昇。タイでも利上げ期待から、4月から5月上旬にかけてタイ金利が急騰していましたが、先週のタイ中銀総裁の発言を受けて、市場の利上げ期待はやや後退した印象です。

一方、ドルパーツ相場についてはタイ金利への感度がそこまで高くなく、足元では人民元との相関が強まっている印象です。もともとはドル人民元との相関性が高い通貨であることから、不透明感が晴れば人民元へ追随する動きが強まってくるのは自然な動きですが、中国ではロックダウンの先行きが不透明であることもあり、トレンド感が出てくるのはまだ少し時間がかかると思われます。6月に発表される米CPIではインフレがピークアウトを迎えるとの予想も強まっている中、ここ数か月に進んできたインフレトレードも終盤にかかって来ている印象もあり、パーツ相場もトレンド展開が意識されるステージに入ってきたと感じる次第です。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.